

## 研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

### ループス腎炎における糸球体内 Exostosin 1/2 発現の検討

#### 1. 研究の対象および研究対象期間

・2010年4月～2020年12月に当院腎臓内科へ入院し、以下2つの臨床研究に同意され腎生検を受けられた方  
「わが国の腎臓病患者における腎生検データベース構築ならびに腎臓病総合データベース構築に関する研究」  
「昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門における腎臓病レジストリー研究」

#### 2. 研究目的・方法

ループス腎炎（LN）は自己免疫疾患である全身性エリテマトーデスの合併症で、腎不全の原因となります。LNは免疫異常で生じた免疫複合体（ICs）が腎の広範囲に沈着して増殖する病変（PLN）と、ICsが腎の血管壁主体に沈着する膜性病変（MLN）に大別されますが、両者には臨床的差異があり、病態の違いも想定されていました。この事象に対し、腎の Exostosin 1 と 2（EXT1/2）蛋白の発現が MLN に特異的であることが近年報告されました。そこで、我々は皆さん（2010年4月～2020年12月に腎生検され、LNと診断された方々）の血液および尿の検査結果、腎生検の所見を詳細に解析し、提供して頂いた血液中の炎症性蛋白の発現と腎組織中の EXT1/2 の発現強度や沈着様式も評価して、LNにおける MLN の特性と EXT1/2 の意義を明らかにする目的で本研究を行います。  
研究期間：昭和大学医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、昭和大学病院長の実施許可を得てから2023年3月31日まで。

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

腎生検で採取させて頂いた血液や尿、腎組織の一部を試料として使用します。更に、診療録に記載された病名、病歴、既往歴、年齢、身体所見、血液や尿の検査結果、腎生検結果、治療歴なども参照させて頂きます。

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：昭和大学病院（医学部内科学講座腎臓内科学部門）氏名：和田 幸寛

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8321